

⑨日本国特許庁 (JP) ⑩特許出願公開  
⑪公開特許公報 (A) 昭61-7167

⑫Int.Cl.  
B 65 H 29/52

識別記号 廈内整理番号  
7539-3F

⑬公開 昭和61年(1986)1月13日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

⑭発明の名称 シート材の案内装置

⑮特 願 昭59-123601  
⑯出 願 昭59(1984)6月18日

⑰発明者 稲谷 通夫 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社内  
⑱出願人 キヤノン株式会社 東京都大田区下丸子3丁目30番2号  
⑲代理人 弁理士 入江 晃

明細書

1.発明の名称

シート材の案内装置

2.特許請求の範囲

1 対の案内部材を、その間にシート材料の搬送通路を形成するように少許の間隔を空して互に平行に配設し、被搬送シート材の供給方向と排出方向とを変えるように前記案内部材を弯曲させてなるシート材の案内装置。

3.発明の詳細な説明

(1) 発明の目的

(産業上の利用分野)

この発明は、複写機、ファクシミリなど、原稿情報を再生ないし転送するような場合、再生された記録材、転送すみの原稿などを排出保持するための排出装置に関するものである。

(従来技術と解決すべき課題)

複写機、ファクシミリ等においては、いつばんに完成されたコピー紙あるいは転送すみの原稿を受容するためのトレーを装置本体に着脱自在に装

架するようにもうけてあるのが普通であり、これを複写機等の本体に取り付けると、トレーの分だけ複写機等を設置するためのスペースが余分に要ることになり好ましくない。

ことに近來、複写機、ファクシミリなどは次第に小型のものがひろく用いられる傾向にあるが、一方これに使用する紙その他転写材、原稿が装置の小型化とともになつて小さくなるわけではないから、これら転写材などを受容するためのトレーを小型化することは勿論不可欠である。

従つて複写機、ファクシミリなどを設置するに要する全スペースにおけるトレー用のスペースは相対的に大きくなり装置の小型化のメリットを減殺することになる。

このような不都合をさけるためにトレーをU字状に、いつばんに上方に弯曲案内させて原稿、転写紙などの排出物を装置自体の占める空間の範囲内に導くようなものも提案されているけれども、このようにすると、とくに薄手の原稿などはトレーに充分案内されず装置上に垂れ落ちるので処理

が厄介になつたり、装置の操作に妨げとなるおそれをまぬかれなかつた。

第3図、第4図及び第5図に示すファクシミリとそれに用いるトレーによつて上述のことを略述すると、第3図において、ファクシミリ本体1にトレー5が装着されており、原稿は本体1の上面1aに沿つて開口3から搬送部2に供給され、走査された後トレー5に落下する。

トレー5はいつばんに第4図に示すような構成となつてあり、その一縁に形成した1対の突部5a、5bをファクシミリ本体に押着してとりつけるものとする。

このため、いつばんに原稿が床に落さないようトレー5はその自由端面が若干上方にむくように装着されるのが普通ではあるが、それにしてもファクシミリ本体端部から符号しに相当するだけ(第3図、第2図該参照)本体から突出するから、この分だけ余裕をもつて設置スペースを確保しておく必要がある。

このような無駄なスペースの必要性をなくすた

めに、たとえば第5図に示すようにトレー6をU字状に弯曲させたものが提案されている。同図に示すものも強着手段は第4図々示のものと変りはなく、ひとつの端縁にもうけた突部6a、6bでファクシミリ本体に係止させるものとする。

このようにトレーを形成することによつて、原稿はこれに沿つて上方へ、ついでファクシミリ本体搬送部2の方向に案内されるわけであるが、薄手の原稿などでは、排出後上方へは向かうがその後直ちに下方に垂下してしまつて事实上トレーに沿つて案内させることができないことがあり、これが、たとえば第2図に符号8, 8'などで示すように乱雑に排出されるのであとの整理に手間がかかつたり、次の原稿操作に邪魔になるような事態を発生するおそれをまぬかれなかつた。

本発明はこのような事態に対処すべくをされたものであつて、複写機、ファクシミリなどの装置本体から排出されたコピー、原稿等を確實に装置本体の占める空間領域の所望の位置に案内し得るようなシート状部材の案内装置を提供することを

目的とするものである。

## (2) 発明の構成

### (問題を解決する技術手段、作用)

本発明によるシート材の案内装置は、相互に適宜の間隔をへだてて平行状に配した2個の、U字状に弯曲した案内部材で形成され、これを複写機、ファクシミリなどのコピー、原稿の排出部に着脱自在に配設するように構成したものである。

排出された原稿等は2個の案内部材の間に形成されるU字状の通路に沿つてその進行方向を上方へ、さらに排出口側に反転案内する。このさい原稿等は2個の案内部材によつてその進行方向を拘束されているので紙の弱い原稿等も、ファクシミリ等の装置の好ましからざる位置に垂下することなく、またこのよう垂下現象による操作性的劣化、ジャムの発生などのおそれがない。

### (実施例の説明)

第1図は本発明による案内装置を示す斜面図であつて、U字状に弯曲形成された2枚の案内部材7c、7dが、適宜の間隔をへだてて互に平行に

配置固定されている。図示外側に位置する部材7cの一方の開放端部には1対の突部7a、7bが形成されており、これら突部を複写機、ファクシミリなどに着脱自在に係止取り付けるものとする。

第2図は、第1図々示の案内装置をファクシミリに取り付けたところを示す要部断面である。

ファクシミリの原稿挿入用の開口3から搬送部2内に供給された原稿は、ローラ対R<sub>1</sub>, R<sub>2</sub>によつて搬送部内に引き込まれ、ローラR<sub>3</sub>、ローラ対R<sub>4</sub>, R<sub>5</sub>によつて図示左方に搬送され、ローラ対R<sub>6</sub>, R<sub>7</sub>によつて開口4から排出される。

開口4の外側には、前述の案内装置7が、その突部7a、7b(図には一方のみが示してある)によつて装架されているので、排出された原稿は、1対の案内部材7c、7dの間に形成されるU字状の通路7Uに沿つて搬送部2の上方に送給されることになる。

このさい原稿は2枚の案内部材7c、7dによつて拘束されることになるから、薄手の原稿でも、図中符号8, 8'などで示されているように急激に

垂れさがつたり、これによつてしわを生じたりするおそれがない、所定の位置まで確実に送給される。

案内装置から原稿等を排出する排出口7。の位置は原稿等の後処理に都合のよいように適宜に定めることができる。

案内部材7c, 7dは硬質の合成樹脂材、金属など適宜の材料を使用することができ、透明または半透明の材料で形成すると原稿の搬送状態を確認することができて好都合である。

なお前述の、第4図に示したような平坦状のトレーが排出される原稿が順次重疊されるので、必要に応じてこのようをものを選択使用できるようになると便利である。

### (3) 発明の効果

本発明は以上のような構成をそなえているから、複写機、ファクシミリなどに利用することによつてこれらの装置の設置スペースを最少にすることができるとともに、排出される薄手の原稿などを確実に所望の位置に誘導することができるので、

原稿等にしわを生ぜしめたり、順次排出される原稿等に順不同、乱れを生ずることを回避して装置の操作性を向上し、また排出された原稿等のみだれに起因するジャムの発生を阻止することができる。

### 4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明による案内装置の実施例を示す斜面図、

第2図は网上案内装置をファクシミリに装架したところを示す要部断面図、

第3図は、公知の案内装置をファクシミリに装架したところを示す要部斜面図、

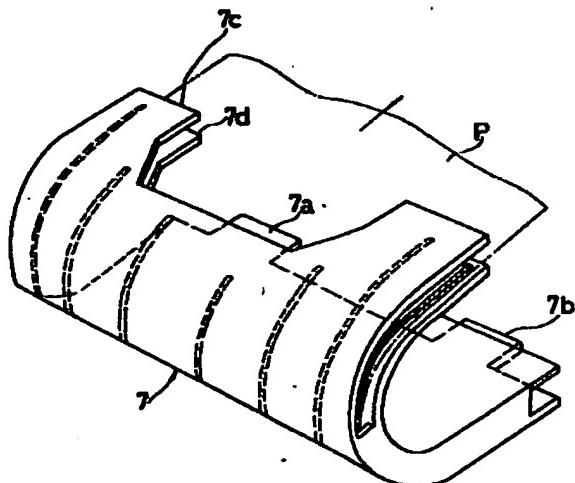
第4図、第5図は公知の案内装置を示す斜面図である。

1…ファクシミリ、2…搬送部、3…開口、5, 6, 7…案内装置、7a, 7b…搬送用突部、7c, 7d…案内部材。

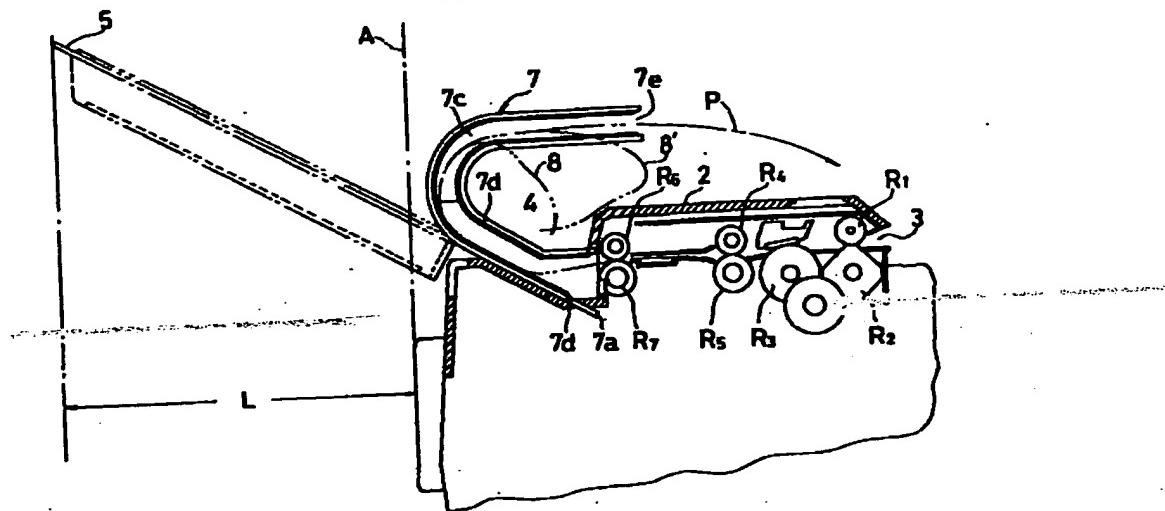
特許出願人 キヤノン株式会社  
代理人 弁理士 入江



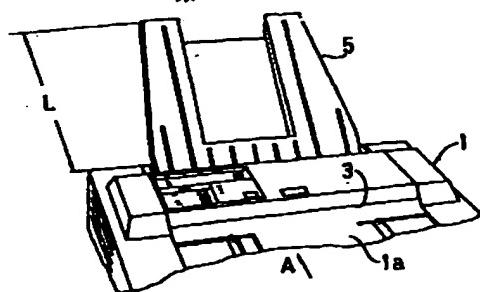
第1図



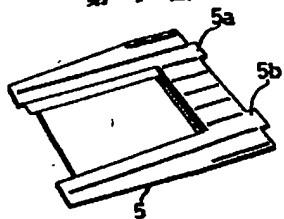
第 2 図



第 3 図



第 4 図



第 5 図

